

課題に取り組む⑨

シリーズ～築く～
2010/11/14

初代教会が抱えた課題

- 組織上の問題
 - 様々な種類の人たちが共に
- 教理上の問題
 - 異邦人クリスチャンも律法を守るべきか
 - 異端
- 方針上の問題
 - 伝道か育成か(パウロとバルナバの対決)
- 宣教の問題
 - 異教社会での信仰生活
 - 迫害(殉教)

【信仰と行い／長老ヤコブの提言】

- 聞くだけではなく行う(実行する)
 - 「御言葉を行う人になりなさい。...聞くだけで終わる者になってはいけません。」<1:22>
- 信仰を行うことで幸せになる
 - 「これを守る人は、聞いて忘れてしまう人ではなく、行う人です。このような人は、その行いによって幸せになります。」<1:25>
- 行いの伴わない信仰は役に立たない
 - 「信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。」<2:17>

【 信仰は行動に表れる 】

- アブラハムが義と認められたのは、実際にイサクを献げたから
 - 「神がわたしたちの父アブラハムを義とされたのは、息子のイサクを祭壇の上に献げるという行いによってではなかったですか。アブラハムの**信仰がその行いと共に働き、信仰が行いによって完成された**ことが、これで分かるでしょう。」〈2:21-22〉

行いの伴う信仰とは

- 人の話を良く聞いて、すぐに怒らない
 - 「だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。」<1:19>
- 舌を制御する(言葉の過ちをおかさない)
 - 「自分は信心深い者だと思っても、舌を制することができず、自分の心を欺くならば、そのような人の信心は無意味です。」<1:26>
- 弱い人たちをケアする
 - 「みなしごや、やもめが困っているときに世話をし」<1:27>

行いの伴う信仰とは

■ 人を分け隔てしない

- 「わたしの兄弟たち、栄光に満ちた、わたしたちの主イエス・キリストを信じながら、人を分け隔てしてはなりません。」<2:1>

■ 悪口を言ったり、裁いたりしない

- 「兄弟の悪口を言ったり、自分の兄弟を裁いたりする者は、律法の悪口を言い、律法を裁くことになります。」<4:11>

【 信仰か行いか？ 】

- 私たちが救われるのは信仰による
 - 「人が義と認められるのは、**律法の行ないによるのではなく、信仰による**というのが、私たちの考えです。」
＜ローマ3:28＞
- 行いが信仰を証明する
 - 「人は行いによって義とされるのであって、信仰だけによるものではありません。」＜2:24＞
- 行いの伴わない信仰は死んだもの
 - 「魂のない肉体が死んだものであるように、**行いを伴わない信仰は死んだもの**です。」＜2:26＞

実践してこそ生きる信仰

■ 隣人を愛するとは？

- 「イエスは言われた。『行って、あなたも同じようにしなさい。』」<ルカ10:37>

■ 信仰の実践はあなたを築く！

- 「善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。真の命を得るために、未来に備えて自分のために堅固な基礎を築くようにと。」<Ⅱテモテ6:18-19>